

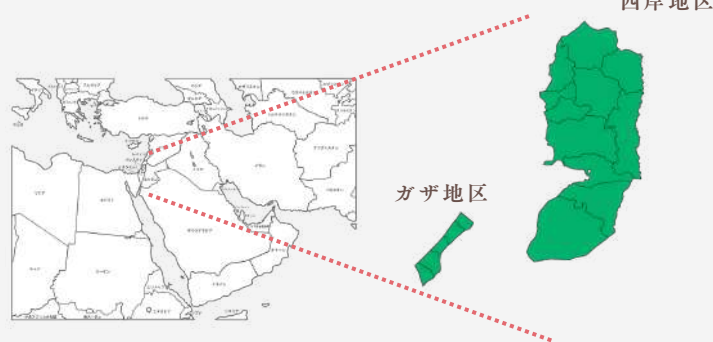
活動報告 2025

パレスチナ赤新月社・日本赤十字社

コミュニティにおけるリハビリテーション事業 (西岸地区・ガザ地区)

支援の背景

長引く紛争や厳しい移動制限が続くパレスチナ。ヨルダン川西岸地区（西岸地区）やガザ地区では、けがや障がいを負った多くの人びとが、医療やリハビリテーションを必要としています。日本赤十字社は2026年1月から西岸地区およびガザ地区において、パレスチナ赤新月社（パレスチナ赤）とのリハビリテーション事業の支援を開始しました。



1. 西岸地区での活動

西岸地区では、検問による移動制限や治安の悪化、経済的困窮が重なり、既存の施設に「通うこと」自体が大きな壁となっています。リハビリテーションは1回の受診で終わるものではなく、継続的に治療を受ける必要があります。今後は施設に通えない人びとのもとにリハビリスタッフが出向き、支援を届けていく計画です。

<写真：パレスチナ赤の関係者と実施にかかる調整を行う日赤要員>



2. ガザ地区での活動

ガザ地区では、国境管理の影響により、医療消耗品、義肢装具、補助器具の製造資材といった、リハビリテーションに欠かせない物資の搬入が大きく制限されています。その結果、装具を必要とする人びとが十分な支援を受けられていないのが現状です。まだ治療を受けられる施設も限られているため、移動式のリハビリテーションを自宅だけでなく避難所や地域の集会所、時には屋外に届けていきます。

<写真：障がいをもつ子どもを訪問するパレスチナ赤スタッフ©PRCS>



～現地からの感謝の声～



パレスチナ赤新月社のリハビリテーション事業は、特に子どもたちの人生に大きな変化をもたらしています。早い段階で受けられるリハビリテーションは、その子の未来そのものを支えます。日本の皆さまからのご寄付は、医療が届きにくい場所で回復への希望をつなぐ、確かな力となっています。心から感謝しています。一人一人の尊厳と未来を支える活動へのご支援を、今後ともよろしく申し上げます。

<パレスチナ赤リハビリテーション部長のピラルール・タヘル氏>

■ 日赤の中東人道危機救援事業 ■



日赤の中東地域での活動実績はWEBからもご覧頂けます。

～皆さまの温かいご支援をよろしく願いいたします～

問い合わせ先

電話番号：03-3437-7088

メール：kokusai-kyuen@jrc.or.jp

担当：国際救援課 事業係 中東担当

